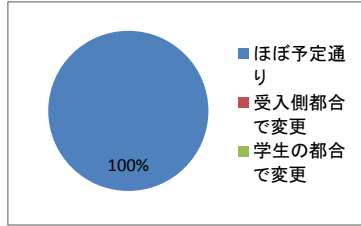


有効回答数 46

1. 学生について

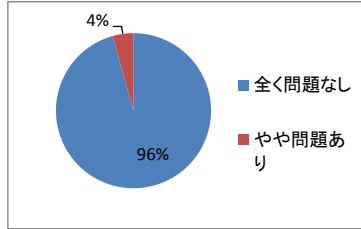
Q1-1 予定期間との差

選択項目	回答数
ほぼ予定通り	46
受入側都合で変更	0
学生の都合で変更	0
その他	0



Q1-2 就業・マナー

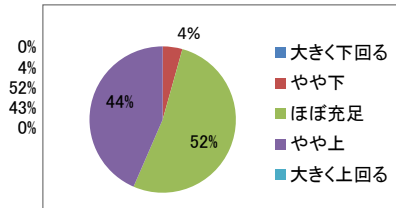
選択項目	回答数
全く問題なし	44
やや問題あり	2
大きく問題あり	0



2012年度
全く問題なし 56
やや問題あり 2

Q1-3 スキル充足度

選択項目	回答数
大きく下回る	0
やや下	2
ほぼ充足	24
やや上	20
大きく上回る	0
平均値:	3.4



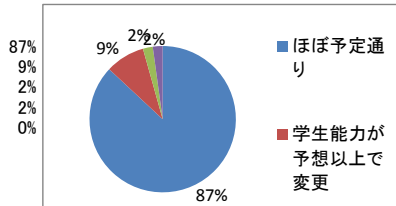
2012年度
大きく下回る 2%
やや下 9%
ほぼ充足 45%
やや上 31%
大きく上回る 14%

▼ やや低下

2012年	3.5
2011年	3.5
2010年	3.3
2009年	3.2
2008年	3.8

Q1-4 業務遂行

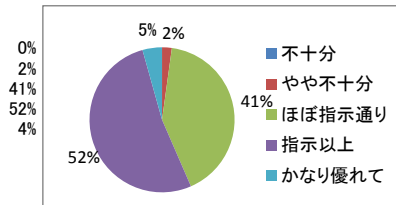
選択項目	回答数
ほぼ予定通り	40
学生能力が予想以上	4
学生能力が予想以下	1
受入側都合で変更	1
その他	0



2012年度
ほぼ予定通り 76%
学生能力が予想以上で変更 12%
学生能力が予想以下で変更 7%
受入側都合で変更 3%

Q1-5 遂行度合い

選択項目	回答数
不十分	0
やや不十分	1
ほぼ指示通り	19
指示以上	24
かなり優れて	2
平均値:	3.6



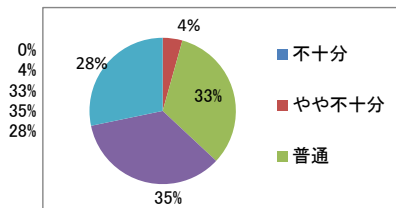
2012年度
不十分 2%
やや不十分 0%
ほぼ指示通り 57%
指示以上 29%
かなり優れて 12%

■ 昨年度に比べ「指示以上」が増加するも「かなり優れて」は減少

2012年	3.5
2011年	3.6
2010年	3.5
2009年	3.3
2008年	3.3
2007年	3.7

Q1-6 積極性

選択項目	回答数
不十分	0
やや不十分	2
普通	15
やや積極的	16
かなり積極的	13
平均値:	3.9



2012年度
不十分 2%
やや不十分 7%
普通 33%
やや積極的 28%
かなり積極的 31%

■ 今年度は少し向上

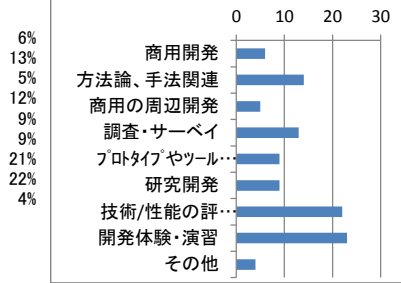
2012年	3.8
2011年	4.0
2010年	4.0
2009年	3.9
2008年	3.9
2007年	4.0

2. アンケート(受け入れ部門)

Q2-2 担当させた業務の種類(複数回答可)

選択項目	回答数
商用開発	6
方法論、手法関連	14
商用の周辺開発	5
調査・サーベイ	13
プロトタイプやツール開発	9
研究開発	9
技術/性能の評価	22
開発体験・演習	23
その他	4

105



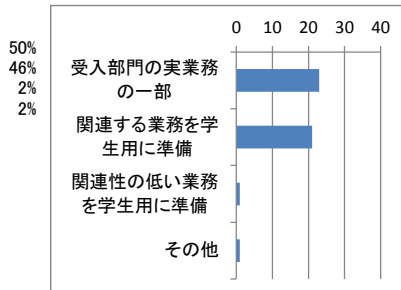
2012年度
 ・商用開発 7 (6%)
 ・方法論、手法関連 11 (9%)
 ・商用の周辺開発 5 (4%)
 ・調査・サーベイ 20 (16%)
 ・プロトタイプやツール開発 15 (12%)
 ・研究開発 11 (9%)
 ・技術や性能の評価・検証 23 (18%)
 ・開発体験・演習 28 (22%)
 ・その他 6 (5%)

■ 大きな傾向の変化はない

Q2-3 担当させた業務の種類(複数回答不可)

選択項目	回答数
受入部門の実業務	23
関連する業務を学生用に準備	21
関連性の低い業務	1
その他	1

46



2012年度
 ・実業務の一部を担当させた 33 (53%)
 ・実業務に関連する業務を学生用に準備した 27 (44%)
 ・実業務とは関連性の低い業務を学生用に準備した 1 (2%)
 ・その他 1 (2%)

■ 大きな傾向の変化はない

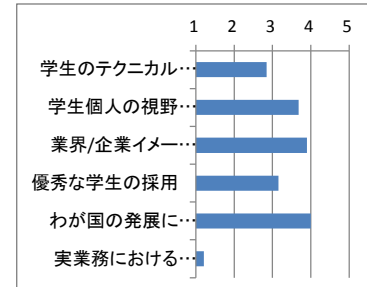
3. アンケート(窓口部門)

Q3-1 インターンシップの受入意義

(優先度 高:5-3-1:低、0該当せず)

選択項目	回答数
学生のテクニカルなスキルアップ	2.8
学生個人の視野を広げ、学習意欲を向上させるため(大学教育の支援)	3.7
業界/企業イメージのアップ	3.9
優秀な学生の採用	3.2
わが国の発展に貢献するため	4.0
実業務における戦力として	1.2
その他	1.2

19社

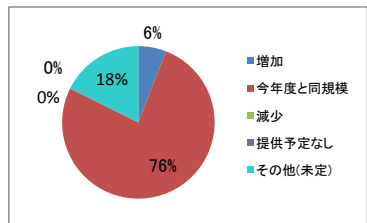


2012年度
 ・学生のテクニカルなスキルアップを行うため(大学教育の支援) 2.3
 ・学生個人の視野を広げ、学習意欲を向上させるため(大学教育の支援) 3.3
 ・IT関連職の職業イメージを持ってもらうことによる業界/企業イメージのアップ 3.4
 ・インターンシップを通じて優秀な学生の採用に結び付けていくため 3.8
 ・経団連/CeFIL活動の趣旨に賛同し、広くわが国の発展に貢献するため 3.5
 ・実業務における戦力として 1.0

■ 「優秀な学生の採用」の優先度が低下(昨年度は初めて1位)

Q3-2 来年度の協力予定

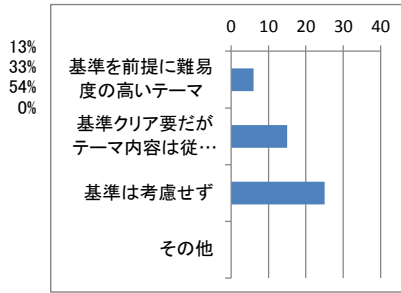
選択項目	回答数
増加	1
今年度と同規模	13
減少	0
提供予定なし	0
その他(未定)	3



4. CeFIL基準について(受け入れ部門、窓口部門)

Q4-1 CeFIL基準と募集要項(テーマ)の関係

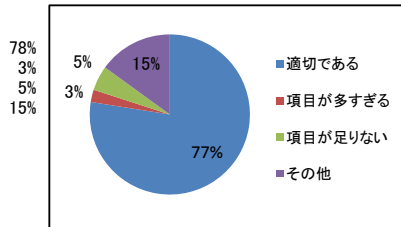
選択項目	回答数
基準を前提に難易度の高いテーマ	6
基準クリア要だがテーマ内容は従...	15
基準は考慮せず	25
その他	0
	46



Q4-2 CeFIL基準の項目について

20社(40名)

選択項目	回答数
適切である	31
項目が多すぎる	1
項目が足りない	2
その他	6
	40



【項目が足りない】

- ・ 基準を満たしている項目と満たしていない項目の両方がわかると良い。面談を実施する場合、取得単位一覧をいただければなお良い。(成績は必要なく、傾向がわかるだけで良い)
- ・ サーバ操作リテラシー(Linux、Windows等)について、ミスマッチがあると生産性に差がでます。PBLではなく実習科目の履修単位など追加しては。

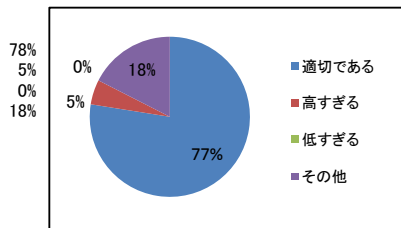
【その他】

- ・ TOEICは国内インターンシップにおいてはそれほど必要とは思いませんでした。
- ・ 基準でなくて、参照情報としてあればいいと思います。
- ・ 弊社の業務では基準項目はあまり関連がありません。
- ・ 掲げられている項目程度でちょうどいいように思うが、基準を満たした学生の応募がなかったため適切であるか否かは判断し兼ねる。

Q4-3 CeFIL基準のレベルについて

20社(40名)

選択項目	回答数
適切である	31
高すぎる	2
低すぎる	0
その他	7
	40



【その他】

- ・ 適切であるが、これだけでは判断がつかない
- ・ 基準を満たすのが望ましいのは確かですが、インターンシップでは受入先により業務内容が多岐にわたるため、一律の基準から判断することは非常に難しい。
- ・ TOEIC(600以上)はレベルを下げてよいのではないか(例:500以上)

【CeFIL基準・運営へのご意見】

- ・ 基準を設けることで、一定レベルの学生の質を担保できるという点ではCeFIL基準をつくること自体はよいと思います。この基準を満たした学生が多く輩出されることを望みます。
- ・ 基準を設定することにより、学生の学習等のモチベーションアップが見られたということならば基準の設定は意味があるのかもしれない。
- ・ 実際に基準を満たしている学生が多くないため、基準自体を見直すか、基準を満たすための何か工夫(カリキュラム)が必要かと思う
- ・ 基準を満たしているに越したことはありませんが、応募学生の中で基準に達する方が想定より少なく、「CeFIL基準要」と設定したテーマには学生の応募がありませんでした。基準により学生さんの選考範囲が狭められてしまったことが残念でした。
- ・ 基準をクリアした学生からのエンゲージメントがなければ受け入れ側としては基準設定はあまり意味がないように感じます。
- ・ 資格試験については、基準そのものをクリアしていなくても、相応の実力があることが事前面接等で確認できれば十分です。
- ・ 英語力は業務によって要不要が異なるので、ITスキルの基準と分離してもいいかもしれません。
- ・ 基準は参考程度とさせていただきます。
- ・ CeFIL基準学生が1名応募すると、募集を打ち切るという仕組みは効率が悪いと受け入れ現場から意見がありました。